

## 第1回連続講座「『いのち』を考える」の開講について

平成24年3月7日  
公益財団法人J R西日本あんしん社会財団  
(J R西日本財団)

当財団において標記連続講座を開講いたしますので、下記のとおり概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 趣 旨

当財団は、設立当初から心身のケアに関わる諸活動の支援を行っており、その一つとして上智大学公開講座「『悲嘆』について学ぶ」につきましても趣旨に賛同し、これまで寄付協力を行ってまいりました。同公開講座は、平成24年2月に終了するまで足かけ5年、9期にわたり開催され、悲嘆に苦しむ方々にとっての貴重な癒しの場となるとともに、グリーフケアの社会的啓発に大きく寄与するものとなりました。

一方、昨年、東日本大震災や台風12号の被害といった未曾有の事態が生じ、悲嘆・喪失による心のケアやサポートの必要性がますます高まるとともに、一人ひとりが自らの生き方や価値観などを見つめ直すきっかけとなりました。

そこで、当財団では公開講座「『悲嘆』について学ぶ」の精神を踏まえつつ、死や悲嘆・グリーフケアはもとより、多様な観点から「いのち」に焦点を当て、24年度より新たに連続講座を開講することといたします。

#### 2. 日 時

平成24年5月9日から平成24年7月11日の毎週水曜日 18:30~20:00 (計10回)

#### 3. 会 場

関西国際大学尼崎キャンパス大講義室 (尼崎市潮江1丁目3番23号、J R尼崎駅北口とデッキ直結)

#### 4. 講 師 (敬称略)

① 5/ 9 (水)	柏木 哲夫 (金城学院学院長、淀川キリスト教病院名誉ホスピス長)
② 5/16 (水)	窪寺 俊之 (聖学院大学大学院教授、元関西学院大学神学部教授)
③ 5/23 (水)	鎌田 東二 (京都大学こころの未来研究センター教授)
④ 5/30 (水)	早瀬 昇 (社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事)
⑤ 6/ 6 (水)	林田 吉司 (あしなが育英会東北事務所長)
⑥ 6/13 (水)	上野 創 (朝日新聞東京本社販売局首都圏第1部次長、「がんと向き合って」著者)
⑦ 6/20 (水)	永田 萌 (イラストレーター、絵本作家)
⑧ 6/27 (水)	山形 謙二 (神戸アドベンチスト病院院長)
⑨ 7/ 4 (水)	西村 隆 (ALS患者、「神様がくれた弱さとほほえみ」著者)
⑩ 7/11 (水)	若林 一美 (立教女学院短期大学学長、ちいさな風の会世話人)

#### 5. 主 催 等

主催：公益財団法人J R西日本あんしん社会財団 (J R西日本財団)

後援：関西国際大学

#### 6. 定 員

350名 (参加無料・事前申込要)

#### 7. 申 込 方 法

官製ハガキに「連続講座参加希望」と明記の上、参加される方の氏名 (要フリガナ)、住所、郵便番号、電話番号を記載してお申込みください。

※全10回一連の講座のため、全10回一括での申込みとなります。特定の日だけの参加または申込みはできません。

※ハガキ1枚につき1名様のお申込みとさせていただきます。

※申込締切：平成24年4月6日 (金) 当日消印有効

※応募多数の場合は抽選とし、当選の発表は受講証の発送 (4月20日頃予定) をもってかえさせていただきます。

《申込先》〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目4番24号 J R西日本財団事務局「連続講座」係

#### 8. そ の 他

- ・当日の取材は講演者のご意向によりお断りさせていただきます。
- ・本講座の内容は、当財団ホームページ (<http://www.westjr-anshin-f.jp/>) をご覧下さい。
- ・第2回連続講座は、平成24年10月に開講する予定です。

＜お問合せ先＞ J R西日本財団 事務局 TEL 06-6375-3202

## 第1回連続講座『いのち』を考える 講師プロフィール

日程	講師（敬称略）	プロフィール
5/9 (水)	柏木 哲夫(かしわぎ てつお) 金城学院学院長、淀川キリスト教病院名誉ホスピス長	大阪大学医学部卒業、ワシントン大学留学。淀川キリスト教病院で日本最初のホスピスプログラムをスタート。大阪大学人間科学部教授を経て金城学院大学学長。現在学院長。日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長、J R西日本あんしん社会財団理事。著書に『「死にざま」こそ人生ー「ありがとう」と言って逝くための10のヒント』他多数。
5/16 (水)	窪寺 俊之(くぼてら としゆき) 聖学院大学大学院教授、元関西学院大学神学部教授	埼玉大学卒業、東京都立大学大学院で学ぶ。その後米国に留学、エモリー大学神学部卒業、コロンビア神学大学院卒業。リッチモンド記念病院チャプレン、イーストベイフリーメソジスト教会牧師、淀川キリスト教病院チャプレン。博士（大阪大学）。
5/23 (水)	鎌田 東二(かまた とうじ) 京都大学こころの未来研究センター教授	國學院大學文学部哲学科卒業。同大学院文学研究科博士課程神道学専攻単位取得退学。岡山大学大学院歯学総合研究科社会環境生命科学専攻中退。文学博士。NPO法人東京自由大学理事長。科研：身心変容技法研究会代表。著書に『神と仏の出逢う国』他多数。
5/30 (水)	早瀬 昇(はやせ のぼる) 社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事	大学で電子工学科を専攻するも、学生時代に交通遺児問題、地下鉄バリアフリー化問題などに関わる市民活動に次々に参加。卒業後、フランス・ベルギーの福祉施設で研修後、1978年に大阪ボランティア協会に就職。91年より2010年まで事務局長。関西大学経済学部客員教授、「新しい公共」推進会議構成員、日本NPOセンター副代表理事、日本NPO学会理事なども務める。
6/6 (水)	林田 吉司(はやしだ よしじ) あしなが育英会東北事務所長	大学時代、街頭募金の交通遺児育英募金に従事、卒業後は財団法人交通遺児育英会職員、主に遺児の大学生と起居を共にする生活を経た後、あしなが育英会事務局長。阪神大震災遺児のケアハウス「神戸レインボーハウス」初代館長、東京にある「あしなが心塾レインボーハウス」館長などを歴任し、あしなが育英会東北事務所長。
6/13 (水)	上野 創(うえの はじめ) 朝日新聞東京本社販売局首都圏第1部次長、「がんと向き合っ」著者	早稲田大学政経学部卒業、朝日新聞社入社。長野、横浜支局、社会部などを経て販売局次長。97年、26歳で進行した精巣腫瘍（睾丸がん）の告知を受け、手術と抗がん剤治療を受ける。その後2度の再発を経験。朝日新聞神奈川版で、闘病手記『がんと向き合っ』を連載、同名の本が日本エッセイストクラブ賞受賞。2010年には、がん経験者を取材した『ニッポン人脈記 がん その先へ』の連載で、ファイザー医学記事賞大賞を受賞。
6/20 (水)	永田 萌(ながた もえ) 絵本作家、イラストレーター	デザイン会社、出版社、製菓会社でグラフィックデザイナーとして勤務した後、1975年にイラストレーターとして独立。「カラーインクの魔術師」と呼ばれる技術と色彩感覚、花と妖精をテーマとした夢あふれる作風で、今も第一線で筆をとる。87年『花待月に』でボローニャ国際児童図書展青少年部門グラフィック賞を受賞。
6/27 (水)	山形 謙二(やまがた けんじ) 神戸アドベンチスト病院院長	東京大学理学部卒業、米国ロマリンダ大学医学部卒業。米国ホスピス緩和医療学専門医、米国内科学会フェロー（FACP）、日本緩和医療学会暫定指導医、日本スピリチュアルケア学会評議員、兵庫医科大学臨床教育教授、北アジア太平洋地区アドベンチスト病院協議会会長。著書に『いのちをみつめて』他。
7/4 (水)	西村 隆(にしむら たかし) ALS患者、「神様がくれた弱さとほほえみ」著者	社会福祉法人「神戸聖隷事業団」に入社。障がい者の生活施設や作業所などで働く。1997年ALS（筋萎縮性側索硬化症）の確定診断を受けて退職。以降、自宅で静養中。著書に『神様がくれた弱さとほほえみ』（いのちのことば社）。
7/11 (水)	若林 一美(わかばやし かずみ) 立教女学院短期大学学長、ちいさな風の会世話人	立教大学大学院教育学専攻修士課程修了。ミネソタ大学「死の教育と研究センター」に研究員として留学。IWG（死と遺族に関する国際会議）会員。Illness, Crisis and Loss 編集委員。著書に『死別の悲しみを超えて』他多数。